



Title	“A 代替B ～” と「AはBの代わりに～」構文に関する 一考察：誤用例 “* 我代替英语学习汉语” を手掛かりに
Author(s)	李, 光曦
Citation	EX ORIENTE. 2023, 27, p. 123-139
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/91322
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

◎論文

“A 代替 B ～” と「A は B の代わりに～」 構文に関する一考察

——誤用例 “*我代替英语学习汉语” を手掛かりに——

李 光曦

1. 問題意識

「A は B の代わりに～」という日本語は、“A 代替 B ～”という中国語に訳せる場合が少なくない。

- (1) a 私は彼の代わりに授業をする。 (1) b 我代替他上课。
(2) a 彼は私の代わりに学校にサインしに行く。 (2) b 他代替我去学校签字。

また、「A は B の代わりに～」という表現を中国語で説明する際に、辞書では“A 代替 B ～”と書かれている場合が多く見られる。『日中辞典 小学館（第3版）』では、「代わり・替わり」の一つ目の用法を「代理となる人・物」と解釈し、“(人、事的) 代替、替代、代理”と訳している。一方、『中日辞典 小学館（第3版）』では、“代替”を「代える. 取って代わる. 代わりを務める」と解釈し、例文では「我代替不了他／私には彼の代わりは務められない」のように“代替”を「代わりに」の形を使用して訳している。また、『岩波 日中辞典（第二版）』では、「代り・替り」の一つ目の用法を「代理, 代用」と解釈し、例文では「今日は父の代わりに伺いました／今天代父亲拜访您来了」のように「代わりに」を“代替”の形を使用して訳している。そして、

『日本語・中国語慣用語法辞典』では「の代わりに」の文型を“代替；替；取代；不…而」と訳し、例文では「政府は民間の代わりに基幹産業部門に投資する現象が生じている。／出现了政府代替民间对基础工业部门进行投资的现象。」のように“代替”を「代わりに」の形を使用している。さらに、『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』では、「かわり」の一つの用法を「代理」と解釈し、中国語で“代替”と訳している。

しかし、日本語の「AはBの代わりに～」と中国語の“A代替B～」構文は必ずしも対応するわけではない。例えば、「私は英語の代わりに中国語を勉強する」という日本語は成立する一方、“*我代替英语学习汉语”という中国語は成立しない。

本稿では、日本語母語話者が産出した“*我代替英语学习汉语”という誤用例を手掛かりに、日中対照の観点から、“A代替B～」と「AはBの代わりに～」の意味的ズレを分析する。そして、この2つの表現はどうして意味的ズレが生じたのか、認知構造の面から考察し、推奨される中国語表現と、教育上の注意点をまとめてみたい。

2. 先行研究

“A代替B～」構文や“*我代替英语学习汉语”タイプの誤用例に関する先行研究はまだないようであるが、“*我代替英语学习汉语”という誤用例は、日本語を母語とする学習者が「私は英語の代わりに中国語を勉強する」という日本語からの負の転移によって生じた誤用と推測できる。日本語からの負の転移に関しては、張恒悦・古川裕（2018）が多くの例を挙げ、“特别是汉日两种语言之间存在的不对称性往往构成日本学生学习上的难点和弱点”（特に日中両言語間に存在する非対称性が、往々にして日本人学生の学習上の難点と弱点になる）と指摘している。さらに、張恒悦・古川裕（2021）、古川裕（2022）は日中両言語間に存在する文法構造や運用の差異と非対応こそが、日本人学生が中国語を理解する時の困難であり、日本人学習者の中国語誤用分析の重要性を

強調した上で、“在日汉语教学语法体系（日本における中国語教育文法の構築）”を提唱している。古川裕（2022）はまた、理想的な中国語教育文法は、学習者の理解と産出の両面における運用能力の習得と向上に結びつく記述を行うことで、「使用」を正しく導くことは言うまでもなく、「誤用」や「非用」を未然に防ぐことが期待されると述べている。

そして、張麟声（2010a）は言語教育のための対照研究を積極的に行うべき理由の一つとして、母語によるマイナス転移の言語的条件を確定することを挙げている。母語と目標言語において対応する形式の意味・機能上の類似が見られる場合にマイナス転移が起こりやすいが、対照研究を行うことによって、その発生する場合の類似性とそうでない場合の類似性との違いを突き止めることが求められると指摘している。また、張麟声（2010a, 2011）は「対照研究・誤用観察・検証調査三位一体の研究モデル」という研究方法を提唱し、母語のプラスの転移とマイナスの転移を積極的に捉え、現場の教育活動に迅速に還元していくことを目指すと述べている。具体的には、対照研究を行うことによって、学習者の母語転移によってもたらされたさまざまな対応・非対応関係を見つけ出すことが必要であるとされる。そして、誤用分析を行い、学習者の実際の運用を対照研究で分析した結果と比較し、予測通りに転移が起こっている場合とそうでない場合を見分ける。最後に、予測の正否を検証する検証調査を行うことによって、母語転移が起こりうるケースを具体的に捉え、教育現場に応用していくことを強調している。このように、日本語を母語とする学習者の誤用を母語の負の転移によって生じたと判断する場合、この「対照研究・誤用観察・検証調査三位一体の研究モデル」という研究方法を使用することが可能であると考えられる。

そこで、本稿では学習者の母語転移によってもたらされた非対応関係の一つである、“A 代替 B ～”と「A は B の代わりに～」の構文を取り上げ、なぜ二つの構文の間に非対応関係が存在しているのかを考察する。張恒悦（2018）は、比較構文“A 比 B ……”と「A は B より…」の違いを論じ、その相違をもたらす原因は、中日比較構文の認知構造の違いであると述べている。これを

踏まえて本稿も、この認知構造の違いの角度から、“A 代替 B ～”と「A は B の代わりに～」の相違の説明を試みることにする。最後に、中国語母語話者に対する調査の結果により、「A は B の代わりに～」の推奨される中国語訳を考察する。

3. “A 代替 B ～”と「A は B の代わりに～」構文の意味的ズレ

日本語の「A は B の代わりに～」構文を中国語に訳すと、多くの場合“A 代替 B ～”のほか、“A 代 B”や“A 替 B”など、“代替”に類する語を用いた表現になる。また、中国語の“A 代替 B ～”構文を日本語に訳すと、多くの場合「A は B の代わりに～」や「A は B に代わって」など、「代わる」に類する語を用いた表現になる。この結果、中日方向・日中方向においてともに「定訳」が形成され、その結果、“A 代替 B ～”と「A は B の代わりに～」は完全なイコール関係であるかのような印象を与えてしまう。

しかし、“*我代替英语学习汉语”という誤用例が示すように、“A 代替 B ～”と「A は B の代わりに～」構文は必ずしも一対一の対応関係にはない。下の例を見られたい。また、以下の例文における正誤判断は、筆者によるものである。

(3) a 私は中検の代わりに HSK の勉強をする。

b* 我代替中检学习 HSK。

(4) a 私はご飯の代わりにラーメンを食べる。

b* 我代替米饭吃拉面。

(5) a 私は DVD の代わりにテレビを見る。

b* 我代替 DVD 看电视。

(3) a から (5) a はいずれも自然な日本語であるが、“A 代替 B ～”を用いた (3) b から (5) b はいずれも非文である。以下、両者の意味解釈の可能性について考察してみたい。

- (6) a 彼は私の代わりにあなたを愛するだろう。
b 他会代替我爱你。
- (7) a 私は父の代わりに祖父の世話をする。
b 我代替爸爸照顾爷爷。
- (8) a 私は彼の代わりにあなたに感謝する。
b 我代替他感谢你。

表1 「A は B の代わりに～」の意味解釈

	意味解釈
(6) a	①彼は、私があなたを愛する代わりに、あなたを愛するだろう。
	②彼は、私を愛する代わりに、あなたを愛するだろう。
(7) a	①私は、父が祖父の世話をする代わりに、祖父の世話をする。
	②私は、父の世話をする代わりに、祖父の世話をする。
(8) a	①私は、彼があなたに感謝する代わりに、あなたに感謝する。
	②私は、彼に感謝する代わりに、あなたに感謝する。

表1のように、「A は B の代わりに～」は文脈次第で2つの意味解釈ができる。次に、中国語について見てみたい。

表2 “A 代替 B ～”の意味解釈

	意味解釈
(6) b	①他爱你，我也爱你，（因为我现在不能爱你了）他会代替我爱你的。
	②？（在我和你当中）他不爱我，他爱你，他会代替我爱你的。
(7) b	①我照顾爷爷，爸爸也照顾爷爷，（因为爸爸不能照顾爷爷了）我代替爸爸照顾爷爷。
	②？（在爸爸和爷爷当中）我不照顾爸爸，我照顾爷爷，我代替爸爸照顾爷爷。
(8) b	①我感谢你，他也感谢你，（因为他不能感谢你）我代替他感谢你。
	②？（在他和你当中）我不感谢他，我感谢你，我代替他感谢你。

表2のように、“A 代替 B ～”は意味的にシンプルであり、①の意味解釈しか成り立たない。

上記の違いは、Bの意味役割が仕手（agent）か受け手（patient）かに関係すると考えられる。意味解釈①において、BはAと同じく動作の仕手である。一方、意味解釈②において、Aはやはり仕手であるが、Bは受け手となっている。このことからして、日本語「AはBの代わりに～」においては、Bは仕手でも受け手でもよいが、中国語“A 代替 B ～”においては、Bは仕手にしかなれないため、“A 代替 B ～”と「AはBの代わりに～」構文の意味的ズレが生じたのだと考えられる。

4. “A 代替 B ～”と「AはBの代わりに～」構文の認知構造

張恒悦（2018）は中日両言語の比較構文の認知構造を、以下のような図で示している。

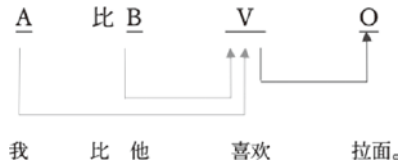


図1：A 比 B…

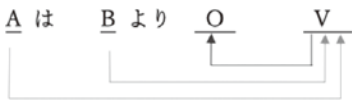


図2：AはBより…（仕手比較）

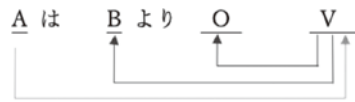


図3：AはBより…（受け手比較）

張恒悦（2018）は、このような認知的相違が生じた背景には2つの統語的要因があると述べている。1つ目は、受け手の文中における位置である。日本語

では図3のように、動詞 V が2回にわたって左方向にある受け手へ接続することが可能である一方、中国語では図1のように、動詞 V が右方向にある O にのみ接続し、反転して左方向にある B と意味構築する可能性は絶たれている。2つ目の要因は、比較基準の位置の自由度である。中国語の“比+比較基準”は文法的自由度が低く、出現場所が固定されている。一方、日本語の「比較基準+より」は比較対象の前後いずれにも置くことができるため、比較基準としての受け手を B の位置に置くことができる。

以下、この認知構造を使用して、中国語の“A 代替 B”と日本語の「A は B の代わりに」についても説明を試みたい。

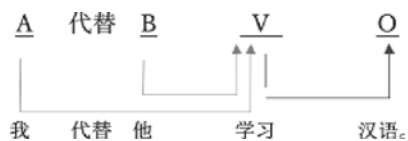


図4：A 代替 B…（B が仕手）

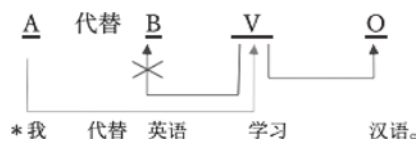


図5：A 代替 B…（仮：B が受け手）

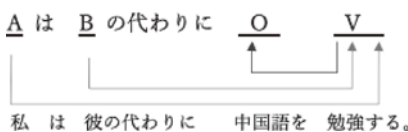


図6：A は B の代わりに…（B が仕手）

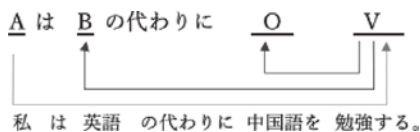


図7：A は B の代わりに…（B が受け手）

日本語では、受け手 O は語順の原則に従って、動詞 V の前に置かなければならない。そのため、動詞 V は図6のように、左方向にある受け手 O と意味関係を構築することができるほか、B も動詞 V の左方向にあるため、図7のように、動詞 V が O と B 両方と意味関係を構築することもできる。この場合、B は受け手と認識される。

一方、中国語では、受け手 O は語順の原則に従って、動詞 V の後に置かなければならない。そのため、動詞 V は図4のように、右方向にある受け手 O と意味関係を構築することはできても、B は動詞 V の左方向にあるため、図5

のように、動詞 V が B と意味関係を構築することはできないのである。

以上、中国語の「A 代替 B ～」と日本語の「A は B の代わりに～」構文の認知構造の違いを比較した。その結果、動詞 V が2つの受け手と意味関係を構築する際には、同じ方向で受け手に結び付かなければならないことが明らかとなった。この点は、日中比較構文の認知構造とも共通している。

5. “A 代替 B ～” と「A は B の代わりに～」の構文要素

張恒悦（2018）は、このような認知的相違が生じた背景には2つの統語的要因があると述べている。1つ目は、受け手の文中における位置であり、2つ目の要因は、比較基準の位置の自由度である。しかし、張恒悦（2018）以下の2点について言及していない。

① “比＋比較基準” と「比較基準＋より」のような文の要素の出現場所は、文の成立と具体的にどのような関係があるのか。

② 文の要素の移動により、文の容認度が上がるのか。

そこで本稿では構文の要素を A、B、V、O の4つに分けて、各要素の移動により、動詞 V が受け手 O と B に同じ方向、あるいは異なる方向で接続する際に、B が受け手になれるかどうか、文の容認度が上がるかどうかを考察したい。また、容認度に関する判断は、筆者によるものである。

まずは、A と B の順番を入れ替えてみて、B が受け手になれるかどうかを確認する。

代替 B	<u>A</u>	<u>V</u>	<u>O</u>
*代替 英語	我	学习	汉语。

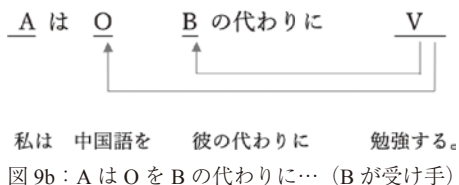
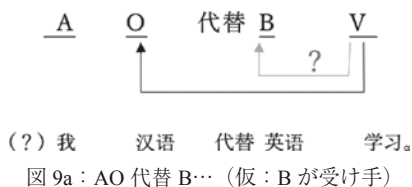
図 8a：代替 BA…（仮：B が受け手）

<u>B</u> の代わりに	<u>A</u> は	<u>O</u>	<u>V</u>
彼の代わりに	私 は	中国語を	勉強する。

図 8b：B の代わりに A は…（B が受け手）

図 8a が示すように、中国語においては、A と B の順番を入れ替えても、非文となる点に変わりはなく、B が受け手とは認識されない。一方、図 8b が示すように、日本語の「B の代わりに A は…」構文においては、A と B の順番を入れ替えた後も、動詞 V が 2 回にわたって左方向にある受け手 O と B に接続するため、入れ替え前と同様に文として成立しており、B が受け手と認識される点にも変化は生じない。

続いて O を A の直後に移動させることによって、B が受け手になれるかどうかを確認する。



先に図 9b を見ると、日本語の「A は O を B の代わりに…」構文においては、O を A の直後に移動させても、動詞 V が 2 回にわたって左方向にある受け手 O と B に接続するため、入れ替え前と同様に文として成立しており、B が受け手と認識される点にも変化は生じない。一方、図 9a が示すように、中国語に関しては、O を A の直後に移動させた場合、動詞 V が B と O 両方に接続する可能性が出てくる。この時 O は動詞 V の左方向に位置しており、中国語の語順の原則には反しているが、文としては“*我代替英语学习汉语”より容認度が高くなると考えられる。

上の問題は、動詞 **V** を **A** の直後に移動させた場合ともあわせて考える必要がある。

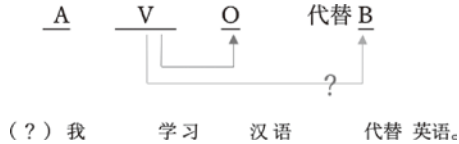


図 10a：AVO 代替 B（仮：B が受け手）



*私は 勉強する 中国語を 彼の代わりに。

図 10b：A は VO を B の代わりに（B が受け手）

図 10a が示すように、中国語で動詞 **V** を **A** の直後に移動させた場合も、動詞 **V** が **B** と **O** の両方に接続する可能性が出てきた。この文も、“*我代替英语学习汉语”より容認度が高くなると考えられる。その理由としては、「連動文」の影響も考えられる。“? 我学习汉语代替英语”は、一つの主語に動詞フレーズが二つ以上連続する連動文として解釈される場合、“学习汉语”の動詞フレーズと“代替英语”の動詞フレーズはそれぞれ方法と目的を表していると考えられる。さらに、“我学习汉语来代替英语”のように、二つの動詞フレーズの間に“来”を入れることによって、方法と目的の関係性を明確にすることによって、容認度がさらに上がると考えられる。一方で、日本語の「A は VO を B の代わりに」に関しては、日本語の語順の原則に反しており、文として成立しないことは明らかである。

以上、中国語の“A 代替 B ~”と日本語の「A は B の代わりに ~」構文の各要素を移動させながら、動詞 **V** が受け手 **O** と **B** に同じ方向、あるいは異なる方向で接続する際に、**B** が受け手になれるかどうかを検証した結果、日本語の「A は B の代わりに ~」構文においては、動詞 **V** が左方向にある **O** と **B** に

接続している限り、B が依然として受け手と認識され、O と B の位置を移動しても、文が成立することがわかった（下例）。

(9) 私は英語の代わりに中国語を勉強する。

(10) 英語の代わりに私は中国語を勉強する。

(11) 私は中国語を英語の代わりに勉強する。

また、中国語においては、動詞 V が異なる方向で O と B に接続する形では完全に非文となる一方、動詞 V が同じ方向で O と B に接続する場合は文の容認度が上がり、B が受け手と認識されやすくなる傾向が見られることがわかった。

6. 「A は B の代わりに～」(B が受け手) を表す中国語の文型

本節では、中国語で「A は B の代わりに～」(B が受け手) を表したい時にどのような表現が用いられるのかを確認するために、中国語母語話者を対象に「私は英語の代わりに中国語を勉強する」という日本語を中国語に翻訳するという調査を行った。調査対象者は中国語母語話者 13 人で、全員日本語能力試験 N1 に合格し、かつ日本留学の経験が 1 年以上あり、日本語上級話者のレベルに達しているとみなすことができる。

その結果は下表の通りである。有効回答 13 文の中で、「複文を使用したもの」は 8 文で、おおよそ 61% を占める。次に「単文で「代わりに」に相当する成分を省略したもの」は 2 文で、全体のおおよそ 15% である。「単文で比較に相当する成分を使用したもの」は 1 文で、おおよそ 7% である。最後、「単文で“代替”を使用したもの」は 2 文で、おおよそ 15% である。

表3 「私は英語の代わりに中国語を勉強する」の中国語訳

複文を使用したもの	我没选英语, 选的汉语。 我没选英语, 选了中文。 我不学英语而学汉语。 我选择学习汉语, 而不是英语。 我不选择学英语, 选择汉语。 我学汉语而不是英语。 我没学英语, 学了汉语。 我本来要学英语, 后来改学了汉语。
単文で「代わりに」に相当する成分を省略したもの	我选择学习汉语。 我最终选择了汉语。
単文で比較に相当する成分を使用したもの	相比英语, 我选择学习汉语。
単文で“代替”を使用したもの	? 我用学习汉语代替学习英语。 ? 我以学习汉语代替学习英语。

表3 からわかる通り、「私は英語の代わりに中国語を勉強する」の中国語訳は大きく分けて4つの文型に訳されている。そのうち最多を占めるのは複文を使用した中国語訳で、「私は英語ではなく、中国語を勉強する」という意味の文である。つまり、「Bに代わる」という意味ではなく、「Bではない」としてしている。2つ目は、「代わりに」の部分进行を全く訳さない例で、この場合、「Bに代わる」という部分は情報価値が低いと判断して、不訳にしたと推測される。3つ目は、比較に相当する成分“相比”を使用して、「私は英語と比べて、中国語の方を選ぶ」とするものである。ここでは、「Bに代わる」という意味ではなく、「Bと比べる」としてしている。4つ目は、“代替”という語を使用し、「Bに代わる」という部分をそのまま訳したものである。しかし、この文は直訳調であり、自然な中国語表現だとは言えない。

上記をまとめると、Bが受け手の場合、「AはBの代わりに～」の中国語訳は複文を使用し、「…ではなく…」の文型が自然であると考えられる。しかし、「AはBの代わりに～」の中国語訳ではなぜ複文が多く使用され、Bが受け手の場合の「AはBの代わりに～」の他の例文でも同様に、複文が多く使用され

るのだろうか。以下、『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』で挙げられている、「代理（～の代理として／～するのではなく）」と解釈している「かわりに～」の例文を使用し、中国語母語話者を対象にそれらの例文を中国語に訳した際に、前の調査と同様に複文の形式を多く使用するかという調査を行った。調査対象者は中国語母語話者 8 人で、全員日本語能力試験 N1 に合格し、かつ日本留学の経験が 5 年以上あり、日本語上級話者のレベルに達しているとみなされる。その結果は、下表の通りである。

表 4 「かわりに～」例文の中国語訳

(12) 出張中の課長の <u>代わりに</u> 、わたしが会議に出ます。	<p>科长出差了，我替他参加会议。</p> <p>课长目前正在出差，这次会议我代为出席。</p> <p>我代替出差的科长参加会议。</p> <p>科长正在出差，今天由我代替他出席会议。</p> <p>科长去出差了，我替他参加这次会议。</p> <p>由我代替出差的课长去开会。</p> <p>课长出差了，由我来代替他开会。</p>
(13) いつものコーヒーの <u>代わりに</u> 、安い紅茶を飲んでみたがけっこうおいしかった。	<p>我没喝常喝的咖啡，喝了便宜的红茶，结果还挺好喝的。</p> <p>平时我都喝咖啡，今天尝试了一下平价红茶，口感竟然也很不错。</p> <p>今天没有买平时常喝的咖啡，而是尝试了便宜的红茶，意外地好喝。</p> <p>总是喝咖啡，这次尝了尝便宜的红茶，也很好喝。</p> <p>我没喝平时喝的咖啡，尝了下这种便宜的红茶，还挺好喝的。</p> <p>平时一直喝的咖啡，喝了一下便宜红茶居然也挺好喝。</p> <p>之前一直喝的咖啡，有次喝了红茶即便很便宜但也很好喝。</p>
(14) 雨が降ったのでテニスの練習をする <u>代わりに</u> 、うちでテレビを見て過ごしました。	<p>下雨了我就没去练网球，在家看了一天电视。</p> <p>今天下雨了，所以没练球，在家看的电视。</p> <p>因为下雨，我没去练习网球，而是改在家里看电视。</p> <p>因为下雨不能练习网球，就在家看电视了。</p> <p>因为下雨了，所以我们没去练网球，而是去我家看电视了。</p> <p>下雨就不去打球了，在家看电视了。</p> <p>下雨了，不去打网球了，在家看了一天电视。</p>

<p>(15) 市役所に行くのに、自分で行く代わりに、姉に行ってもらった。</p>	<p>我自己没去市政府，让姐姐替我去的。 我让我姐姐替我去了趟市政府。 本来应该是我去市政府的，请姐姐替我去了。 本打算去市政府，但是姐姐替我去了。 我得去一趟市政府，但不是本人去，我姐替我去。 让我姐帮我去市政府了。 要去市政府，我自己不想去，让我姐帮我去了。</p>
<p>(16) メールをする代わりに、今日は久しぶりに長い手紙を書いた。</p>	<p>今天时隔很久没发邮件，而是写了封长信。 好久没写信了，今天没写邮件，而是写了一封长长的信。 今天没发邮件，重拾了久违的手写书信。 平时总是发邮件，今天久违地写了一封长信。 我今天没有写邮件，久违地写了封很长的信。 之前基本都是邮件，但今天难得地写了封长信。 平时一直是发邮件的，今天久违地写了很长的信。</p>

表4からわかる通り、(12) 及び (15) の例文、つまり B が仕手の場合のみ、中国語訳では“代替、代、替”のいずれかを使用して訳されている傾向がある。(13) (14) (16) の例文、つまり B が受け手の場合は、中国語訳では“代替、代、替”が一切使用されず、全て複文の形で「かわりに～」の例文を訳していることが明らかである。このように、中国語では受け手としての関連性のある二つの事項が出現し、それらを比較したり、交替したり、選択したりする場合、事項の関連性を表す言葉（“比～”“代替～”）が出現せず、文脈や内容で前後のフレーズの関係性を推測する傾向があると考えられる。

このように、日本語母語話者が「かわりに～」を中国語でアウトプットしようとする場合、B が仕手の時には問題なく“代替、代、替”を選択して産出することに対し、B が受け手の場合は非文を産出しやすくなると推測できる。そのため、日本語母語話者を対象に中国語を教える時に、B が受け手の場合、中国語では複文が多く使用され、「…ではなく…」のような形で表すことが多いと説明する必要があるだろう。また、張麟声（2012）は「仮説検証型習得研究」は相反する二つの方向から行うものであり、日本語から中国語へ、または中国語から日本語へというように、相反する二つの方向から「対照研究、誤用観察、

仮説検証」といった三位一体の習得研究のモデルを用いて研究を進めるとする。そのため、中国語母語話者は日本語を学習する際に、「かわりに～」を使用する構文を産出しにくく、複文で「…ではなく…」のような形で表すことが多いと推測できる。そのため、中国語母語話者である日本語学習者には、日本語と中国語の相違を説明した上で、「かわりに～」という構文がどのような場面や文脈で使用されているのかを伝える必要があるだろう。

7. まとめ

以上の考察から、「A は B の代わりに～」と“A 代替 B ～”は一对一の対応関係ではないことが明らかとなった。日本語の「A は B の代わりに～」と中国語の“A 代替 B ～”構文の認知構造の違いは、日中比較構文の違いとも共通するが、動詞 V が B に接続し、B が受け手となれるかどうかという点である。

そのため中国語教育において、日本人中国語学習者に“A 代替 B ～”構文を教える際には、日本語と違って B には仕手の働きしかないことを意識させる必要があると考える。加えて、B が受け手の場合、「A は B の代わりに～」の中国語訳は複文を使用し、「…ではなく…」の文型が自然であると考える。

〔参考文献〕

張恒悦

2018 「中日両言語の比較構文について——誤用例“*我比米饭喜欢拉面”を手掛かりに——」『中国語教育』16, 91-109。

張恒悦, 古川裕

2018 「基于日语母语者偏误分析的在日汉语语法教学」『中国語教育』16, 21-31。

張恒悦, 古川裕

2021 「关于在日汉语教学语法体系的几点思考」『汉语教学学刊』14, 93-101。

張麟声

2010a 「対照研究・誤用分析・習得研究三位一体の研究モデルについて」『言語文化学研究言語情報編』5, 1-19。

張麟声

- 2011 「仮説検証型双方向習得研究について——日本語の「も」と中国語の「也」を例に」
『中国語話者のための日本語教育研究』5, 1-14。

張麟声

- 2012 「日本語の「の」と中国語の「的」における双方向習得研究（1）修飾部が指示詞であるなどの3ケースを例に」『中国語話者のための日本語教育研究』3, 1-17。

古川裕

- 2022 「文法研究から文法教育への貢献——数量名詞句をめぐる構文横断的研究を例にして——」『日本中国語学会第72回全国大会予稿集』, 11-21。

[辞典]

倉石武四郎, 折敷瀬興編

- 2001 『岩波 日中辞典（第二版）』岩波書店, 東京。

友松悦子, 和栗雅子, 宮本淳著

- 2010 『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』アルク, 東京。

北京・商務印書館, 北京・对外経済貿易大学, 小学館共同編集

- 2015 『日中辞典 小学館（第3版）』小学館, 東京。

北京・商務印書館, 小学館共同編集

- 2016 『中日辞典 小学館（第3版）』小学館, 東京。

劉曉民著

- 1999 『日本語・中国語慣用語法辞典』日本実業出版社, 東京。

“A 代替 B ～”与「A は B の代わりに～」句式初探 ——以“* 我代替英语学习汉语”偏误句为例——

李 光曦

到目前为止,「A は B の代わりに～」这一句式常被翻译为“A 代替 B ～”,但通过日本汉语学习者“* 我代替英语学习汉语”这一偏误,我们可以发现这两个句式并不是一一对应的关系。本文首先分析「A は B の代わりに～」和“A 代替 B ～”意义上的差异,其次通过引用先行研究中汉日比较句式的认知结构,重新对这两个句式进行了考察。结果发现,「A は B の代わりに～」句式当中 B 既可以成为施事,也可以成为受事;而“A 代替 B ～”句式当中 B 只能成为受事。这一差异产生的原因主要受到句子要素的移动和位置的影响。之后,本文通过对汉语母语者的调查,总结出 B 为受事时「A は B の代わりに～」的汉语翻译最好为“……而不是……”。因此,在教学当中我们可以告诉日本汉语学习者“A 代替 B ～”句式当中 B 只能作为施事, B 作为受事的时候可以使用“……而不是……”这一句式。

